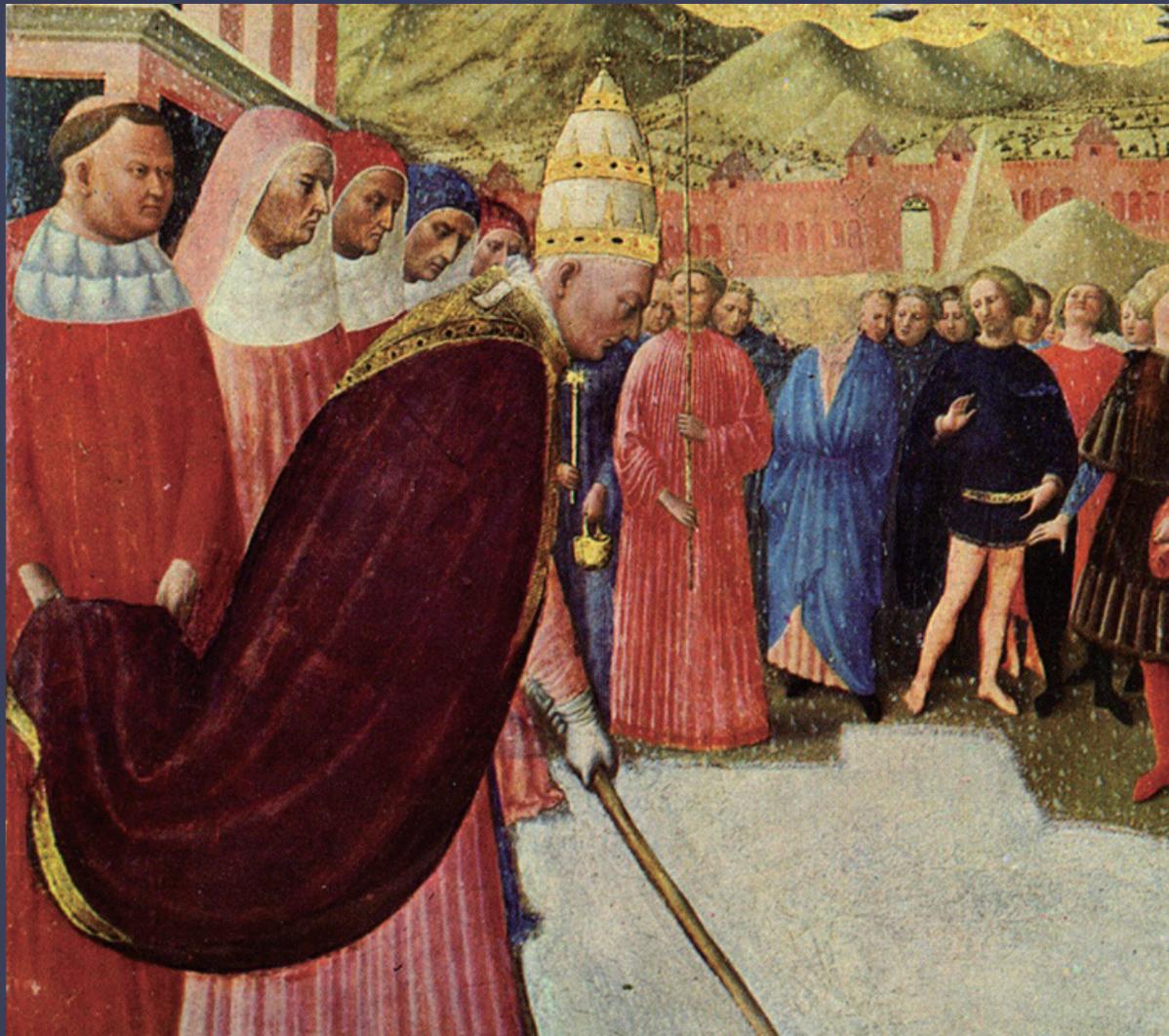


# 「教皇史」を学ぶ

— G・バラクロウ『中世教皇史「改訂増補版」』

藤崎衛訳（八坂書房）の刊行を記念して—



上智大学中世思想研究所主催

2021 11/18 Thurs. 19:00~20:30

実施形態：オンライン（Zoomウェビナーの使用）  
入場無料・事前申込必要

講演 藤崎衛（東京大学大学院総合文化研究科准教授、当研究所客員所員）  
司会 荻野弘之（上智大学文学部哲学科教授、当研究所正所員）

- ・趣旨説明
- ・講演 「教皇史」を学ぶ

—G・バラクロウ『中世教皇史「改訂増補版」』  
藤崎衛訳（八坂書房）の刊行を記念して

- ・質疑応答

お申込みはこちらから



M. ダ・パニカーレ『教皇リベリウスによるサンタ・マリア・マッジョーレ聖堂の建立』、蔵：カポディモンテ美術館（イタリア、ナポリ）

連絡先：上智大学中世思想研究所 ☎03-3238-3822 imdthght@sophia.ac.jp

上智大学四谷キャンパス：JR中央線、東京メトロ丸ノ内線・南北線 四ツ谷駅 麴町口・赤坂口徒歩5分



Sophia Open Research  
Weeks 2021 5th Nov.— 23rd Nov. Sophia University



# ご案内

上智大学中世思想研究所主催オンライン講演会

「教皇史」を学ぶ

——G・バラクロウ『中世教皇史 [改訂増補版]』藤崎衛訳（八坂書房）の刊行を記念して——

上智大学中世思想研究所は、2021年度 Sophia Open Research Weeks の一環といたしまして、オンライン（Zoom ウェビナー使用）の講演会を開催いたします。今回は、当研究所客員研究員・藤崎衛先生が本年2月に上記の御訳を刊行されたことを記念し、藤崎先生よりご講演をいただきます。

昨今の研究動向、教皇庁の歴史——とりわけその中世的形態の確立——を調べる歴史研究の意義、キリスト教史全体の中での「教皇史」研究の持つ意味、さらには、そもそも教皇庁とは何であるかを、国家制度や近代的な宗教・国家関係との違い、また欧州の国際政治のなかでの立ち位置からご説明いただくなど、お話は多岐にわたることでしょう。司会は当研究所正所員・荻野弘之先生が務めます。

当講演会は、研究者諸氏に開かれていると同様、一般の方々、大学院生・学部学生の皆さま、高校生の方々に開かれております。どうぞすすんでご参加下さいませ（要・事前申込、無料）。

上智大学中世思想研究所・佐藤直子

講演 藤崎衛（当研究所客員所員）

1975年生まれ。

東京大学大学院人文社会系研究科博士課程修了。博士（文学）。同研究科助教、茨城大学教育学部准教授、上智大学文学部准教授を経て、現在、東京大学大学院総合文化研究科准教授。特にローマ教皇庁の制度や文化を研究対象とする。

著書に『中世教皇庁の成立と展開』（八坂書房、地中海学会ヘレンド賞受賞）、『ヴァチカン物語』（共著、新潮社）など。訳書にM・ケルナーほか『女教皇ヨハンナー伝説の伝記』（共訳、三元社）、D・アブラフイア『地中海と人間—原始・古代から現代まで』（共訳、藤原書店、近刊）がある。

お申込みはこちらから



連絡先：上智大学中世思想研究所 ☎03-3238-3822 imdthght@sophia.ac.jp

上智大学四谷キャンパス：JR中央線、東京メトロ丸ノ内線・南北線 四ツ谷駅 麴町口・赤坂口徒歩5分

<https://dept.sophia.ac.jp/is/imdthght/>